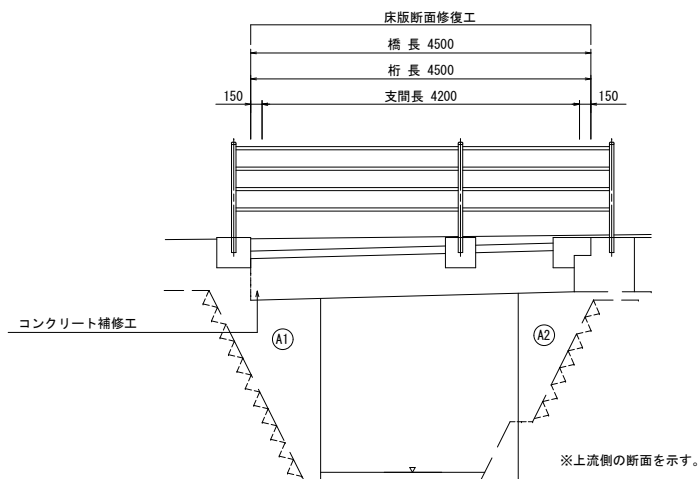


# 昭和通り3号橋 修繕工一般図

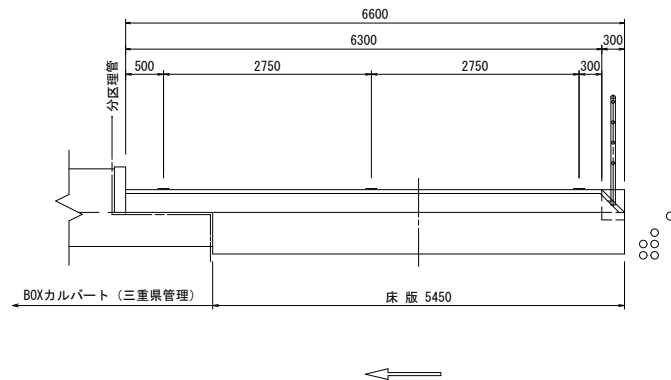
側面図

S=1:50



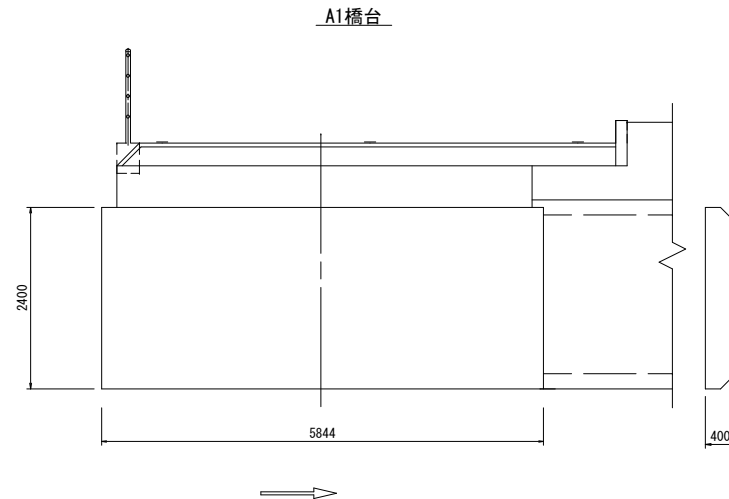
断面図

S=1:50



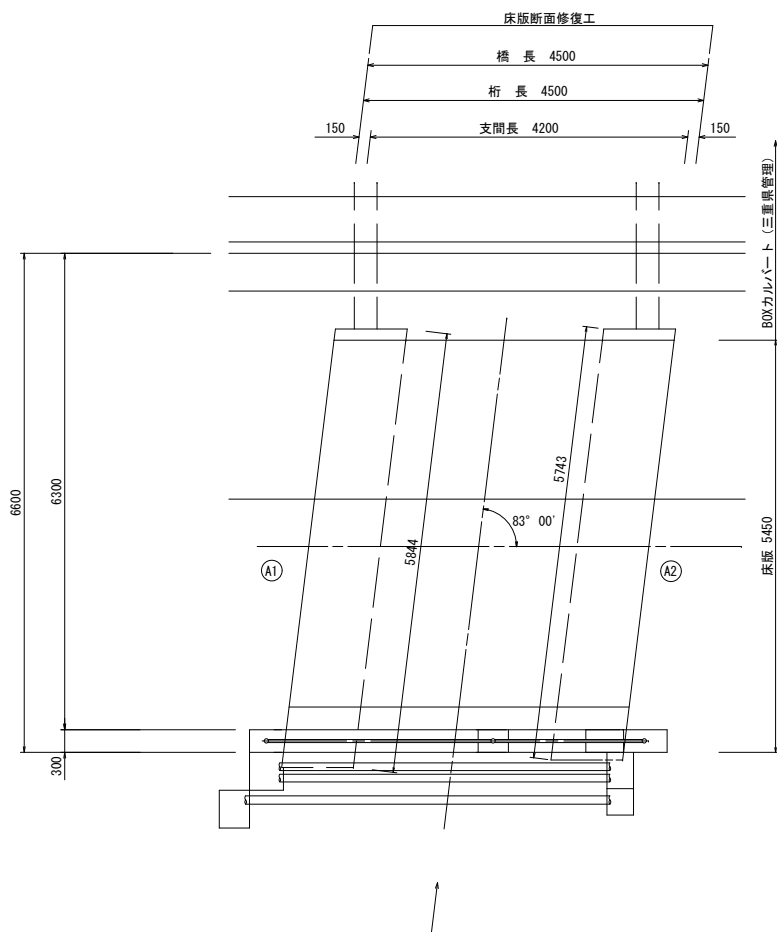
下部工正面図

S=1:50

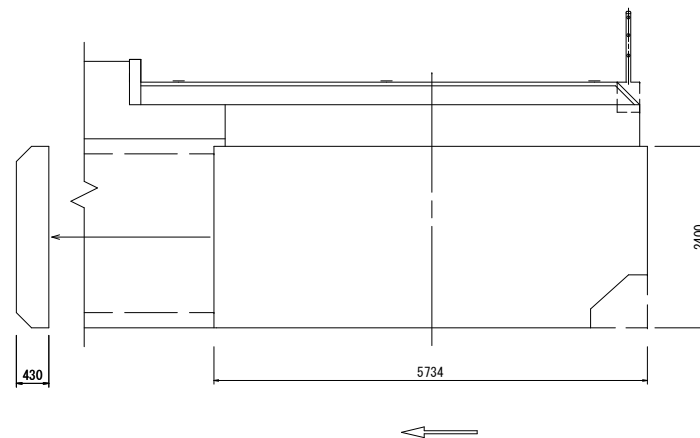


平面図

S=1:50



A2橋台



※縮尺はA1判出力時のものとする  
【昭和通り3号橋 (市道昭和通り線・阿児町鵜方地内)】

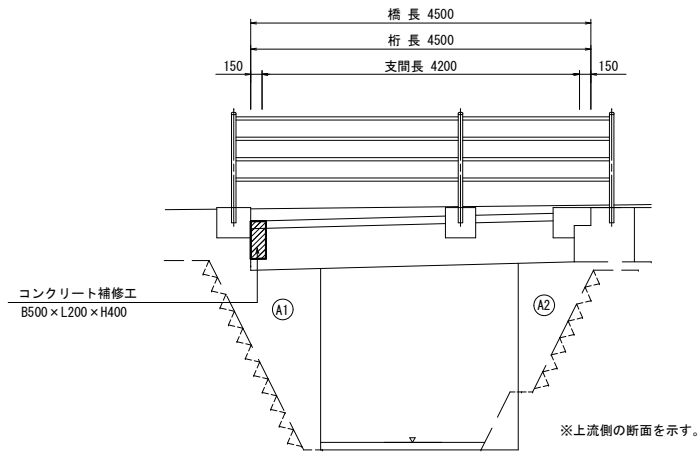
工事名	令和4年度 第1A1阿001号 昭和通り3号橋 橋梁修繕工事			
図面名	修繕工一般図			
年月日				
尺度	図示	図面番号	1	4
会社名				
市町名	志摩市			

- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
- 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
- 3) : 今回の工事で使用する足場は、移動式足場（脚立など）を使用する。
- 4) : 取壊し殻などが流出しないように、ブルーシートや土のう等を用いて流出対策を行なう。
- 5) : 非出水期における過去5か年の最大雨量が予想された時点で、上記の仮設資材を速やかに撤去する。

# 修繕工詳細図 (1)

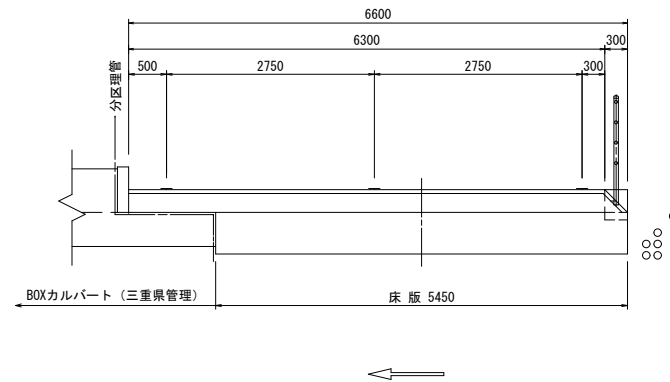
側面図

S=1:50



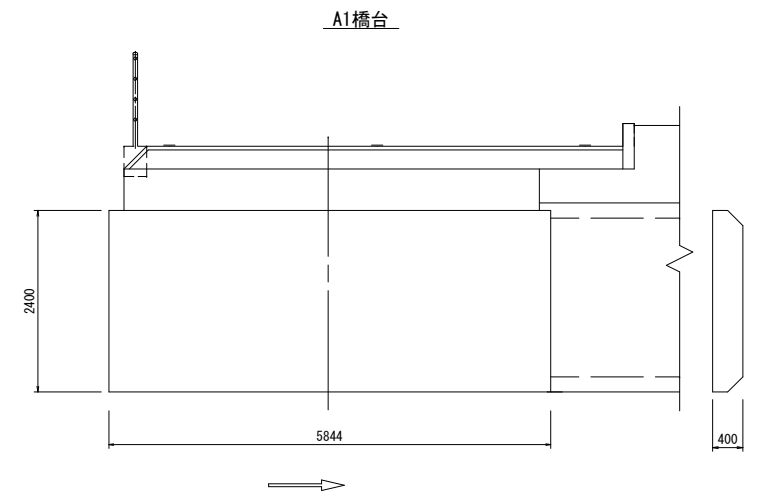
断面図

S=1:50



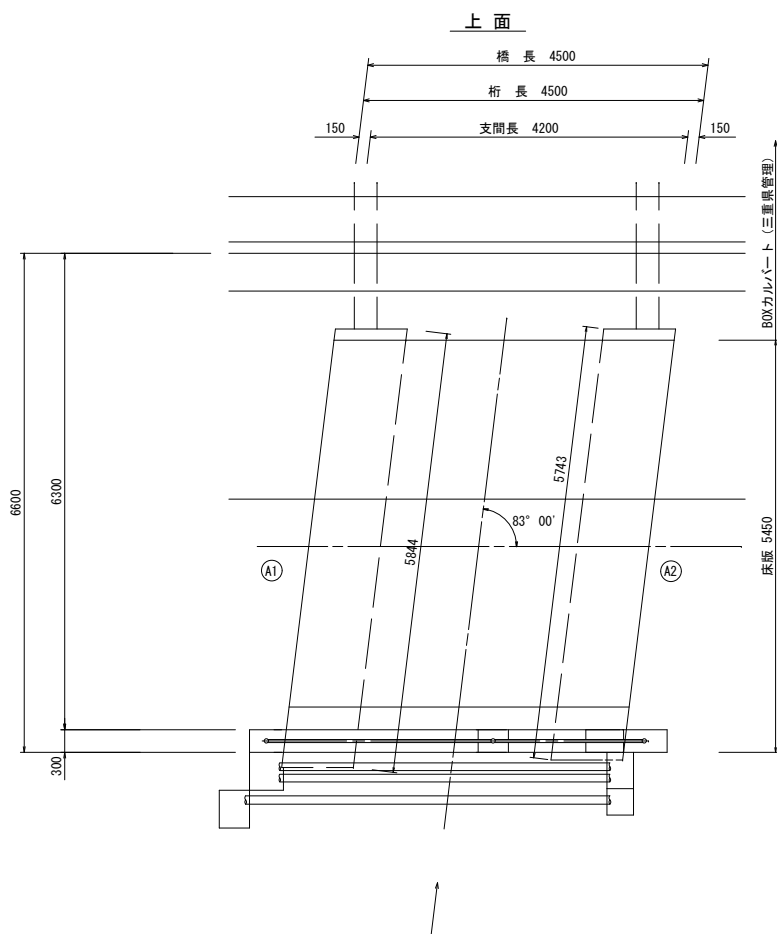
下部工正面図

S=1:50

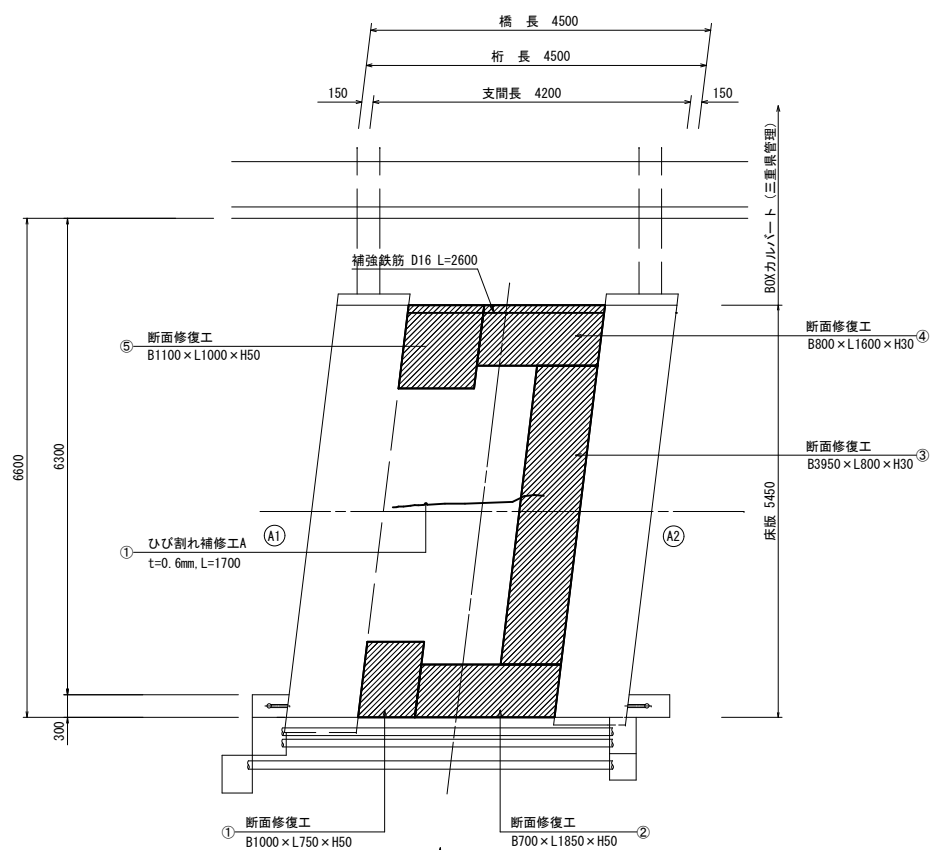


平面図

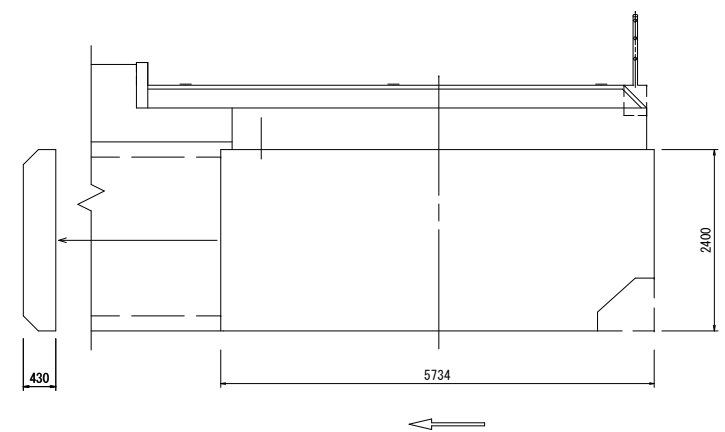
S=1:50



下面



A2橋台



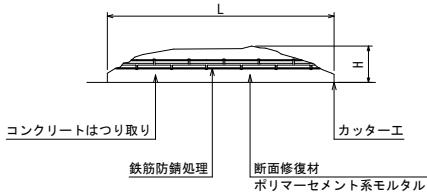
- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。  
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。  
3) : 今回の工事で使用する足場は、移動式足場（脚立など）を使用する。  
4) : 取壊し殻などが流出しないように、ブルーシートや土のう等を用いて流出対策を行なう。  
5) : 非出水期における過去5カ年の最大雨量が予想された時点で、上記の仮設資材を速やかに撤去する。

※縮尺はA1判出力時のものとする  
【昭和通り3号橋（市道昭和通り線・阿児町端方地内）】

工事名	令和4年度 第1A1阿001号 昭和通り3号橋 橋梁修繕工事		
図面名	修繕工詳細図 (1)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	2 / 4
会社名			
市町名	志摩市		

修繕工詳細図(2)

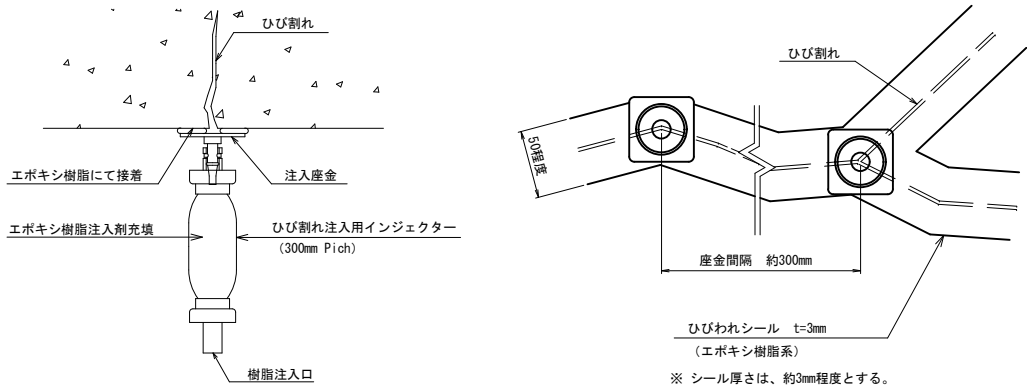
断面修復工詳細図



※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。  
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。  
※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。  
※ 鉄筋防錆処理について  
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。  
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

ひび割れ補修工A詳細図

(ひび割れ注入工A)



※ ひび割れ部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。

※縮尺はA1判出力時のものとする  
【昭和通り3号橋（市道昭和通り線・阿児町端方地内）】

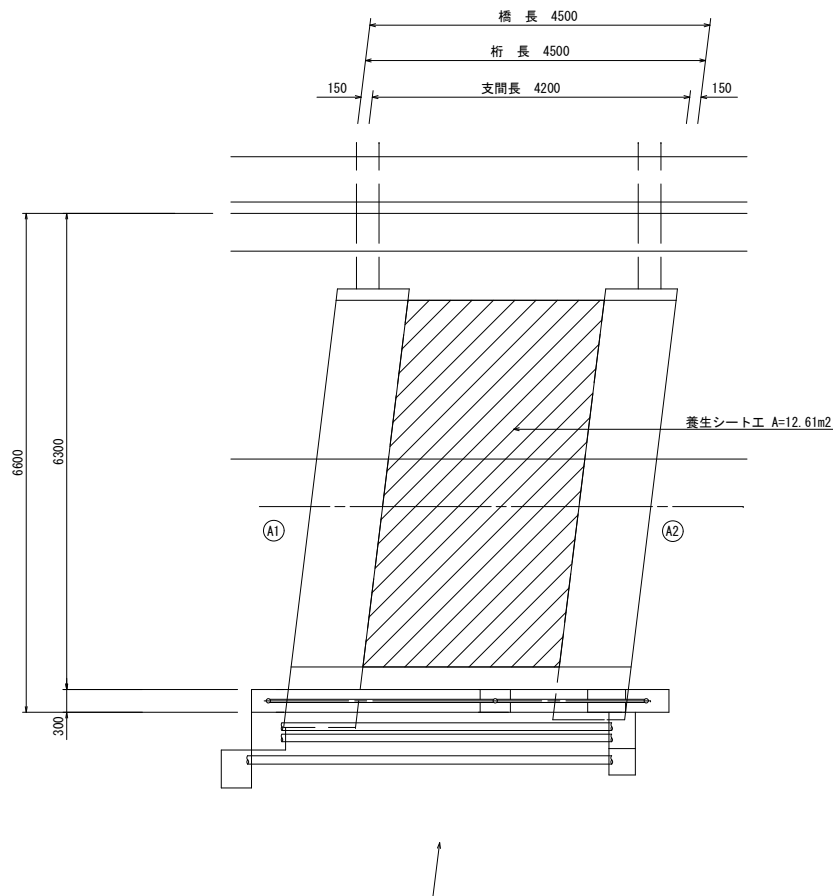
工 事 名	令和4年度 第1A1阿001号 昭和通り3号橋 橋梁修繕工事			
図 面 名	修繕工詳細図 (2)			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	3	／ 4
会 社 名				
市 町 名	志 摩 市			

注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。  
2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。  
3)：今回の工事で使用する足場は、移動式足場（脚立など）を使用する。  
4)：取壊し殻などが流出しないように、ブルーシートや土のう等を用いて流出対策を行なう。  
5)：非出水期における過去5ヵ年の最大雨量が予想された時点で、上記の仮設資材を速やかに撤去する。

仮設工（参考図）

養生シート工

S=1:50



- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
- 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
- 3) : 今回の工事で使用する足場は、移動式足場（脚立など）を使用する。
- 4) : 取壊し殻などが流出しないように、ブルーシートや土のう等を用いて流出対策を行なう。
- 5) : 非出水期における過去5か年の最大雨量が予想された時点で、上記の仮設資材を速やかに撤去する。

※縮尺はA1判出力時のものとする  
【昭和通り3号橋（市道昭和通り線・阿児町端方地内）】

工 事 名	令和4年度 第1A1阿001号 昭和通り3号橋 橋梁修繕工事			
図 面 名	仮設工（参考図）			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	4	／ 4
会 社 名				
市 町 名	志 摩 市			